

7 NEWS

life with stone
～ 石の温もりを、暮らしの中に ～

みなさんこんにちは。

西日本は早々と5月には梅雨入りしましたが、東日本はこれからです。梅雨明けと同時に一気に暑い夏がやって来ます。2021年の夏の暑さの見通しが発表されましたが、7～9月の気温は、広範囲で平年並みか平年よりやや高い、全国的にも暑い夏になりそうです。そんな暑さにも負けないさらに熱い情報を今号もお届けいたします。

TOPIC 1

運搬車のタイヤ・ゴムクローラーの交換



石材やタイルの移動・運搬に使用されるのが2輪車や4輪車と呼ばれる運搬車いわゆる**丁稚(でっち)車**(右写真)です。

使用頻度に応じて当然劣化もあり特にタイヤの消耗度は高く、タイヤ交換に関するお問い合わせがここ最近多くなってきております。また、石材専用の運搬車やカートクレー



丁稚車

ンのゴムクローラーの問合せも増えてきております。そこで今回はタイヤ・ゴムクローラーの交換に関しての特集です。

運搬車(丁稚車)のメーカー(商品名)がわかれば、交換用タイヤの手配は簡単にできます。メーカーや商品名が不明の場合は、確認を何点か行う必要があります。確認頂く点は次の3点です。

①タイヤあるいはチューブのみの交換

タイヤの側面に記載されているサイズを確認ください。「350-5」「300-4」と記載されていることが多いです。

この寸法が分かれば、タイヤの特定は可能で、タイヤとチューブを用意することが出来ます。また、パンクしない、ノーパンクタイヤを選択される方が増えてきています。

②タイヤとホイールの交換

ホイールの仕様は、ホイールの軸受け部にベアリングが付属したハブレス仕様が基本ですが、ブレーキ付きタイヤや耐荷重の大きなタイヤには、ドラムやハブ(鋳物製)が付属しているホイールもあります。

まず、ホイールの仕様を確認してください。

その上で、ホイールの軸径の確認が必要です。当社が販売する商品の標準は25φですが、市場には17φと20φもあります。

ホイールの仕様と軸系が分かれば、対応する規格がわかります。

キャタピラ仕様の運搬車のゴムクローラーの交換については、次の事項のどちらかの確認が必要です。

①メーカーと機種の確認

ご使用頂いている運搬車のメーカーと機種が分かれば、対応するゴムクローラーが判明します。運搬車本体には、メーカーとその機種が記載されたプレートがありますので、ご確認ください。

②クローラーの寸法確認

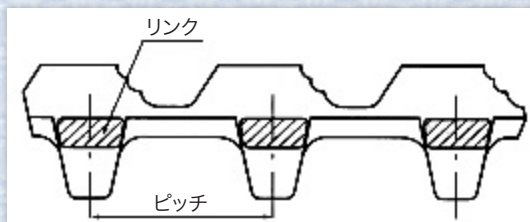
クローラー幅、リンク数、山ピッチの3種類の寸法が分かれば、対応するゴムクローラーが判明します。



ハブレス仕様



ドラムやハブが付属しているホイール



TOPIC 2

新商品 夏の現場における蚊対策商品！



夏の現場には蚊が多く、蚊対策商品を何かしら準備されていると思います。羽が小さな蚊は風に弱く、風があると思い通りに飛ぶことが出来ないために蚊に刺されることが少なくなります。しかし、現場によっては風通しが悪く、蚊にたくさん刺される経験をされていると思います。そこで今回ご紹介するのは、今までありそうでなかった、充電式のファンのご紹介です。

今回ご紹介するのは、わずか3時間の充電で最大8時間の連続運転（バッテリー弱運転時）が可能な充電式のファン（扇風機）です。45cmのアルミ製羽根（ファン）、そして丈夫なスチールボディと、現場での使用に最適な仕様です。蚊の多い場所での施工作業や現場彫刻の時に、蚊を寄せ付けず、涼を取れる充電ファンをお勧め致します。

TOPIC 3

最新中国情報



コロナのため、昨年の1月から当社も中国へは訪問出来ていません。今、中国の状況はどうなっているのか、当社の中国事務所の代表の張からのレポートです。

コロナについて

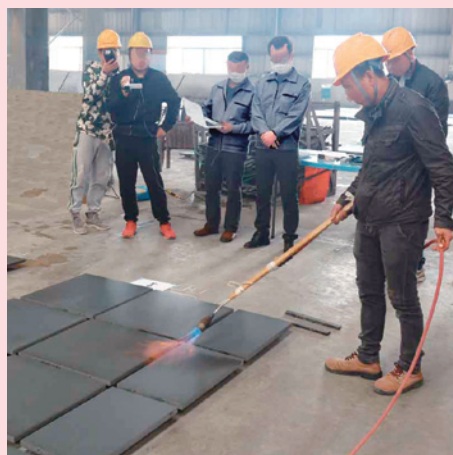
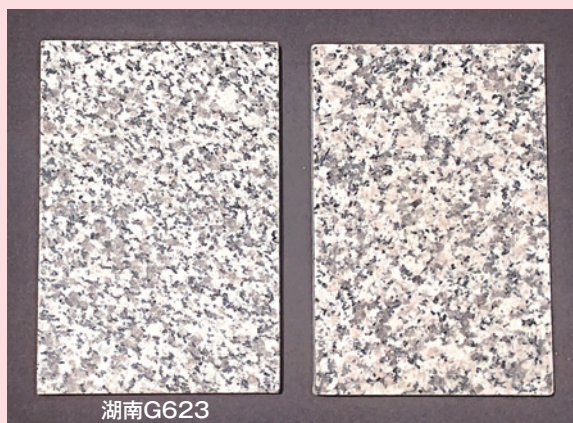
中国国内においてコロナの感染対策は厳しく行われており、現在のところ一部を除き、新たな国内感染者が発表されていません。6月7日で新たな感染者が報告されているのは、広州で4名、深圳で1名の5名です。それ以外で国内の感染者は発見されていません。また、省間での移動制限はありませんが、国外からの感染確認に対しては厳しくチェックする体制をとっています。

石材工場の状況

各石材の工場においては墓石・建築石材工場ともに4月以降の稼働率が下がっております。以前にもご案内した通り、福建省内の採掘丁場は全て閉山しており、よく使用されているG623/G654/G688/AG98などは在庫としてまだありますが、価格が毎月上昇しています。そのため、G623の代替えとして**新G623（湖南G623）**が工場でよく使われ始めてきました。

コロナのため訪問しての検品が出来ない状況であるため、一部工場では日本とのオンライン検品が活用されています。便利なため、オンライン検品はコロナ後も普通に活用されるようになると思われます。

同じくコロナのために、中国からインドへ原石の仕入れの検品に行くことが出来ず、原石の品質についての問題が発生し始めています。そのため、インドでの仕入れ先との強固な関係のある工場に、注文が集中するようになっていきます。これは原石の品質管理にとどまらず、加工の品質管理にも通じるため、工場間の受注の格差につながっていると思われます。



藤栄株式会社

大阪本社 〒578-0944 大阪府東大阪市若江西新町4-5-25
東部営業所 〒327-0817 栃木県佐野市伊勢山町14-10

ウェブサイト
<http://touei.ne.jp>



フェイスブック
<https://www.facebook.com/touei.kenzai/>



商品についてのお問い合わせ・ご注文等は、お近くの石材工具販売店様までお問い合わせください。

TOUEI ドットニュースは、メールでいち早く配信しております。配信をご希望の場合は、web@touei.ne.jp へ、メールの本文欄に会社名・お名前をご入力の上、送信ください。（右側のQRコードで、上記のメールが開きます）

